



続ける

日本赤十字社兵庫県支部 事務局長 大久保博章

この1年で、体重が数キロ増えた。体重計に乗っていないから正確な数字は分からないが、確実に増えているのは、間違いない。何より、スーツのウエストがきつい。オーダーシャツの首元がきつい。革靴がきつい。久しぶりに会った先輩にさえ「楽されてますか?」と言われた。

ダイエットが必要だが、この年になって食事制限は嫌だしなあ、かといって、いきなりジョギングするのはなあ、と考えている…。日経新聞で菅官房長官が、朝夕100回の腹筋を続けて、4か月で体重が14キロ落ちたとの記事を見つけた。以来、とりあえず朝夕、30回の腹筋を続けているが、効果はまだ見えない。一方で、晩酌。こちらのほうは、もう何十年も続けている。少しぐらいの腹筋では、太刀打ちできないぐらいのカロリー摂取。なかなか、ダイエットは難しい。翻って、日本赤十字社の「続ける」。人を救うことを続けて140年余、兵庫県支部も来年130周年を迎える。歴史の重み、伝統の重み。長年赤十字事業に取り組んでこられた先人たちは頭が下がる。しかし、世の中の価値観が多様化し、様々な団体が人を救う事業を展開している。その中で、災害救護、訓練、講習、ボランティア、国際救援といった赤十字事業を続けていくためには、県民、市民、企業、団体に事業内容を理解してもらい、やっぱり赤十字と評価してもらうことが不可欠である。

そのために、支部職員一人一人に何ができるのか、どうすればいいのかを考え、実行していきたい。奉仕団の皆さん、地区区分の担当者の皆さん以上に汗をかいていきたい。これからの兵庫県支部が「100年続きますように…」



日本赤十字社兵庫県支部管内において、今年度153名の新任職員が入社し、4月2日の新任職員研修に臨みました。



5月号では、事務職員2名の自己紹介と抱負をご紹介させていただきます。



日本赤十字社兵庫県支部 奉仕課 宮浦 胡実

初めまして!兵庫県支部奉仕課に配属になりました宮浦胡実です。実家は北海道で、大学入学を機に兵庫県に引っ越してきました。3月に卒業した神戸医療福祉大学では、福祉と心理学について学びました。趣味は映画やお笑いを見ることでキャンプも好きです。今一番してみたいことは裁判傍聴です。学生の頃からボランティアや献血に興味があり、時間があれば参加していました。その中で熊本県、岡山県の災害ボランティアやカンボジアの海外ボランティアを経験し、自分一人の力はとても小さく、多くの人の働きで世の中は成り立っているのだと改めて強く感じました。同時に、医学など特別な知識のない自分でも災害救護や国際活動にかかわる仕事がしたいと考えたのが、日本赤十字社を志望したきっかけです。1日1日を大切に少しでも早く仕事に慣れ、出来ることを増やしていきたいです。



兵庫県赤十字血液センター 献血推進課 江崎 貴久

初めまして!兵庫県赤十字血液センター、献血推進課の江崎貴久です。私は福岡県福岡市出身で、関西学院大学への入学を機に兵庫県にきました。大学進学時には兵庫県で就職するとは思っていませんでしたが、縁あって兵庫県で赤十字職員になることが出来ました。ちなみに趣味はフットサルとリーグ観戦、料理です! 大学では兵庫県学生献血推進協議会に所属し兵庫県の学生と一緒にボランティアとして献血の呼びかけなどを行っていました。もちろん私自身も献血を何度も行っています!献血回数は年齢の倍以上です(笑) 今まではボランティアとして赤十字と関わってきましたが、これからは職員として関わっていきます。職員としての意識を持ち、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る職員になれるように心掛けて業務に励んでいきます。

遺言・相続財産・お香典でのご協力について 「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出を多くいただいております。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言による寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。 お問い合わせは ☎078-241-8921 (振興課) まで



応募者プレゼント

兵庫県淡路市夢舞台にある最高級ホテル、ウェスティンホテル淡路のペア宿泊券(朝食付)を2組4名様に! ご応募、お待ちしております!

抽選で 2組4名様

社名

ウェスティンホテル淡路
神戸市内からお車で約30分、大阪市内からは約60分、緑豊かな淡路島に佇む癒しのリゾート。眺望豊かなパルコニー付きの客室、至福の寝心地をお届けするヘブンリーベッドでくつろぎのひとときをお楽しみください!



商品名

ペア宿泊券(朝食付)
有効期限:2019年11月末まで【除外日:お盆(8/10~16)期間】
繁忙日など満室の可能性がありますので、必ず予約をお願いします。
ご予約の際には、招待状の番号をお伝えください。

応募方法

①氏名②郵便番号③住所④性別⑤年齢⑥電話番号の本誌でよかった記事(複数回答可)をメールまたははがきでご応募ください。抽選でプレゼントが当たります! ♪切りは2019年5月31日必着。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。 ※いただいた個人情報はプレゼントの発送および支部からの連絡のみに使用します。
メール so-mu-ka9889@hyogo.jrc.or.jp ★件名に「応募者プレゼント」とご記入ください。
はがき 〒651-2411 神戸市中央区臨浜海岸通1-4-5 日本赤十字社兵庫県支部 応募者プレゼント係



5月12日(日) 10:00~13:00

多可赤十字病院『第5回病院フェスタ』

テーマ:多可日赤で楽しもう!
手術室や避難所の体験コーナーや、健康相談コーナーなどもあります。ぜひお越しください。

5月19日(日)

神戸まつり「おまつりパレード」に出場します!

赤十字運動月間(5月)のPR活動の一環として、今年も神戸まつり「おまつりパレード」に出場します。兵庫県支部の行進時間は、13:23頃を予定しています。

救急法ミニ講習

5月12日(日) 10:00~15:00 三田市役所前 風の広場
6月29日(土) 10:00~15:00 プルメール舞多間 1階中央エントランスホール

講習のご案内

赤十字基礎講習 (1日間の講習)	6月22日(土) 13:00~17:30 7月20日(土) 13:00~17:30
救急法基礎・救急員養成講習 (3日間の講習)	6月23日(日)・29日(土)・30日(日) 9:30~17:30(初日は13:00~17:30) 7月21日(日)・27日(土)・28日(日) 9:30~17:30(初日は13:00~17:30)
水上安全法救助員I養成講習 (4日間の講習)	6月15日(土) 基礎9:00~14:30 養成15:00~17:00 6月23日(日)・29日(土)・30日(日) 9:00~17:00(最終日は9:00~14:00) 場所:1日目 日本赤十字社兵庫県支部 2日目~4日目 兵庫県広域防災センター(兵庫県消防学校)(兵庫県三木市)
幼児安全法支援員養成講習 (2日間の講習)	8月3日(土)・4日(日) 9:30~17:30
健康生活支援講習支援員養成講習 (2日間の講習)	7月13日(土)・14日(日) 9:30~17:10(初日は9:30~16:30)

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

講習に関するお問い合わせは、お電話またはホームページで **Tel.078-241-1499**

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990
赤十字 兵庫 検索 http://www.hyogo.jrc.or.jp/

ひょうごの赤十字 5月号 [2019年5月1日発行]

ひょうごの赤十字+

2019 5



被災地への継続的なご支援に感謝いたします。

- 兵庫県国民保護共同訓練に参加
- 姫路赤十字看護専門学校卒業式
- 第4ブロック青年赤十字奉仕団合同防災体験
- 柏原赤十字病院開院式
—これまでのご支援ありがとうございました—
- 5月は赤十字運動月間
赤十字活動へのご支援をお願いします
- 応募者プレゼント

義援金を大久保事務局長に贈呈する前川キャプテン(左)

Japanese Red Cross Society Hyogo Chapter

継続的に被災地への支援をして下さっている神戸製鋼コベルコスティーラーズは、2018年12月ジャパンラグビートップリーグにて見事優勝しました。「阪神淡路大震災の際、我々は多くの皆様からご支援をいただいたことで見事に復興を遂げ、笑顔を取り戻すことが出来るようになりました。我々はその時に受けた皆様からのご支援を決して忘れてはおりません。(神戸製鋼コベルコスティーラーズホームページより一部抜粋)」という思いで、今年度は、東日本大震災、平成30年7月豪雨災害、北海道胆振東部地震災害へ合わせて3,457,822円と多額の義援金をお預かりしました。これらは、「SMILE AGAIN」というメッセージ入りのチャリティーリストバンドの販売やファンクラブ入会金の一部、ファンとの交流イベント「ラグビーフェスタ」でのチャリティーオークションの収益、その他募金活動で集まった義援金をご寄付いただいたものです。苦しんでいる人を救いたいという赤十字の理念にご理解をいただき、その知名度を活かし、被災された方へ継続的な支援を続けてくださる神戸製鋼コベルコスティーラーズの益々のご活躍を祈念いたします。

兵庫県国民保護共同訓練に参加しました

2月17日(日)、神戸市兵庫区のノエピアスタジアム神戸で兵庫県国民保護共同訓練が行われ、神戸赤十字病院救護班が観客救護訓練に参加しました。

本年に開催されるラグビーワールドカップ神戸大会や、G20大阪サミット首脳会議、また来年の東京オリンピック・パラリンピック等の大規模で国際的なイベントを控え、テロ対策の強化が重要になっています。今回の訓練では、国際テログループがラグビーワールドカップの試合中にサリンを散布する事案が発生したことを想定して訓練が実施されました。神戸赤十字病院救護班は大勢のスタジアム内の観客が避難してくる中で気分不良などの傷病者に対応する救護所の統括を担当して、ベッドコントロールや、搬出順位の決定、情報のとりまとめ等を行いました。



第4ブロック青年赤十字奉仕団合同防災体験

近年、自然災害の増加が問題となっていますが、2018年度は大阪北部地震や西日本豪雨、台風21号など、近畿地方にも多くの被害をもたらしました。そこで、近畿2府4県の青年赤十字奉仕団が自分たちも防災知識を深めようと、3月2日、兵庫県広域防災センターで地震体験、屋外訓練場で簡易救出器具の取扱体験、救援物資・救助資材の備蓄倉庫と日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センターを見学しました。今後もこのような体験学習を通じて青年赤十字奉仕団全体の防災意識向上に努める予定です。



兵庫県日赤有功会親睦交流会を開催しました

兵庫県日赤有功会の親睦交流会として、3月7日(木)、42名の会員の皆様にご参加いただき、昼食会および落語鑑賞をしました。この交流会は、会員同士が顔を合わせられる貴重な機会の一つです。

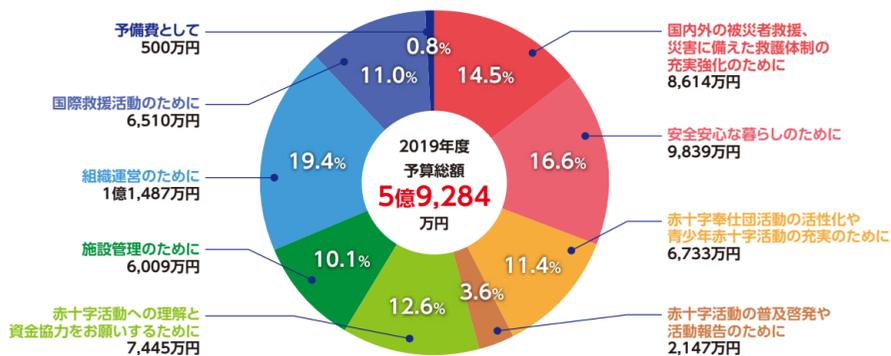
昼食会では、美味しい料理を頂きながら会話に華を咲かせ、その後、神戸新開地・喜楽館に移動し、2時間あまり落語を鑑賞。圧巻の話芸を間近で堪能でき、とても楽しいひと時を過ごすことができました。



5月は赤十字運動月間 赤十字活動へのご支援をお願いします！！

多様化する災害に備え、日本赤十字社兵庫県支部では、県内の赤十字病院に医療救護班を編成し、ただちに被災地で災害救護活動が行える体制を整えている他、防災訓練や研修などを通じて、関係機関との連携や技術レベルの向上を図るとともに、救護資機材の整備や救援物資の備蓄などにも努めています。

また、安全安心な街づくりの一環として、警察施設などへ救急箱やAED(自動体外式除細動器)の設置をはじめ、救急法の講習会や青少年への防災教育などを通じて、いのちと健康を守る活動にも取り組んでいます。日本赤十字社は、国民保護法や災害対策基本法などに定められる指定公共機関としての役割を担っていますが、その中立性と独立性が強く求められることから、国や県等からの補助金(税金)ではなく、会員の皆さまから拠出いただいた会費や、多くの皆さまからお寄せいただく寄付金によって、これらの多岐にわたる事業を実施しております。皆さまの暖かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



5月8日は世界赤十字デー 8th May World Red Cross Day

赤十字の原点。それは、1859年にスイス人のアンリー・デュナン(赤十字の創始者)が、イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノで「苦しむ人は敵味方区別なく救護しなくてはならない」という思いを持ったことがきっかけです。

アンリー・デュナンの誕生日である5月8日を「世界赤十字デー」と定め、世界191カ国と地域に広がる赤十字・赤新月社に関わる一人ひとりが、赤十字について原点に立ち戻ります。

日本赤十字社は、その「世界赤十字デー」がある5月に赤十字運動月間と定め、人道的な使命を果たすことを目的とした民間組織として活動をお伝えするキャンペーンを展開しています。



人と防災未来センター(神戸市中央区)

いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
〒 □座記号番号:01110-0-1136
□座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



看護の道へ新たな一歩を踏み出します。

3月8日、姫路赤十字看護専門学校の卒業式が挙行政され、佐藤四三学校長から一人一人卒業証書が手渡されました。学生は伝統の日本赤十字社女子救護員の制服に身を包み、看護師として患者さんに寄り添うことを誓いました。卒業生代表の若木伽奈さんが「赤十字の理念である人道について考え続けていきたい」と決意を述べました。看護学校では、どんな時もみんなと助け合いながら、いろいろなことにチャレンジしてきました。この貴重な体験から学んだことを忘れず、患者さんのために頑張りたいと思います。

また、3月22日には第108回看護師国家試験の合格発表がありました。発表当日まで不安な日々を過ごしましたが、44人全員が合格。看護の道への第一歩を踏み出しました。3年間学んだことを基に、常に患者さんのことを第一に考え、誰からも信頼される看護師になれるよう期待しています。



柏原赤十字病院閉院式 -これまでのご支援ありがとうございました-

柏原赤十字病院は、県立柏原病院との統合再編計画に基づき3月31日をもって閉院し、84年の歴史に幕を下ろしました。

閉院に先立ち、3月28日には永年に亘って病院案内や病院内外の環境整備などで病院運営に尽力していただいた17名の病院ボランティアの皆さまに、秋田院長から感謝状を贈呈させていただきました。細やかな心遣いと優しく包み込むような笑顔で日々活動を続けていただきありがとうございました。今後は県立丹波医療センターでもご協力をお願いいたします。

翌29日午後4時から病院3階会議室で閉院式が開催され、本社、兵庫県支部、県、市、医師会、地元自治会や病院職員など51名が出席し、長嶋兵庫県病院事業管理者、谷口丹波市長からご挨拶をいただきました。これまで支えていただいた柏原町自治会長協議会、柏原町4自治会、丹波市赤十字奉仕団、ボランティアの皆さまに感謝状を贈呈させていただき、最後に「柏原赤十字病院84年の軌跡」と題してスライドで病院の歴史を振り返りました。

これまで数多くの人々に支えられ、地域医療の一端を担うことができたことに深く感謝いたします。病院はなくなっても、赤十字の精神は、在籍した職員やボランティアの皆さまから受け継いでいけることを願います。

